

公益社団法人日本地球惑星科学連合
第16回学協会長会議議事録

開催日時 :平成 29 年 5 月 23 日(火)12 時 30 分から 13 時 23 分

開催場所 :幕張メッセ国際会議場 1 階 101

〒261-0023 千葉市美浜区中瀬 2-1

出席者 :

[学協会] 塚本尚義(日本地球化学会, 議長), 大塚康範(日本応用地質学会), 日比谷紀之(日本海洋学会), 井口正人(日本火山学会), 松岡篤(形の科学会), 吾妻崇(日本活断層学会), 岩崎俊樹(日本気象学会), 土山明(日本鉱物科学会), 森田喬(日本地図学会), 前田晴良(日本古生物学会), 窪田順平(日本沙漠学会), 今井亮(資源地質学会), 山岡耕春(日本地震学会), 古宇田亮一(日本情報地質学会), 嶋田純(日本水文科学会), 樋口篤志(水文・水資源学会), 島田秋彦(生命の起原および進化学会), 浜田康史(石油技術協会), 高橋修平, 大畑哲夫(日本雪氷学会), 日置幸介(日本測地学会), 北和之(日本大気化学会), 高野修(日本堆積学会), 小野昭(日本第四紀学会), 久田健一郎(日本地学教育学会), 竹之内耕(地学団体研究会), 谷口真人(日本地下水学会), 渡部重十(地球電磁気・地球惑星圏学会), 藁谷哲也(日本地形学連合), 渡部芳夫(日本地質学会), 矢野雄策(日本地熱学会), 村山祐司(日本地理学会), 日本地理教育学会(竹内裕一), 地理情報システム学会(玉川英則), 野上道男(東京地学協会), 濱本昌一郎(土壌物理学会), 八田珠郎(日本粘土学会), 石郷岡康史(日本農業気象学会), 光畑祐司(物理探査学会), 北岡豪一(陸水物理研究会), 倉本圭(日本惑星科学会), 佐川拓也(地球環境史学会), 牛尾知雄(日本大気電気学会)

[日本学術会議] 大久保修平(日本学術会議地球惑星科学委員会委員長), 高橋桂子, 中村尚

[連合] 川幡穂高(会長), 田近英一(副会長), 中村正人(副会長), 古村孝志(副会長), 北里洋(監事), 氷見山幸夫(監事)

(敬称略)

議事内容 :

1. 前回議事録確認

前回会議議事録を確認した。

2. 日本地球惑星科学連合活動報告

(1) 2017 年大会概要(川幡会長)

2017 年連合大会の開催状況について川幡会長より報告があった。

参加者数は AGU からの投稿が 1000 件、昨日締めに参加者数は全体で約 6700 名であり、昨年に比べて大幅な参加者増が見込まれる。今大会全体では 8000 名前後の参加が予想される等、AGU との共同開催が盛会となっていることが報告された。

また、キーノートスピーチが初めて開催され、Lucy Jones 氏と梶田隆章氏による基調講演が催された。沢山のご参加があった高校生の方々にも大きな感銘を残されたであろうことが報告された。

ポスター会場についても快適な広さで人の流れも良く、雰囲気も洗練されたと好評をいただいている。

その他、昨日開催された若者を集めたミキサーランチオン(昨年の学生優秀発表賞を受賞された方をご招待)も 100 余名ほどの席が満席で、活発な議論が各テーブルで行われ盛会となった。ミキサーランチオンでは日本のコミュニティ(JpGU)へのリクエストを集めたので、今後の大会開催の改善に生かしたいとのことだった。

また、昨年、コンビナーズレセプションとして開催していた会を今年新たにプレジデンシャルレセプションとして、昨日開催されたことが報告された。

(2)JpGU ジャーナルの進捗状況報告

PEPS(Progress in Earth and Planetary Science)の編集・出版状況について川幡会長より報告があった。ジャーナルは現在、順調な編集・出版を進めている。

昨年トムソン・ロイターに提出した IF、Scopus の採録申請状況について説明があった。引き続き、高いレベルの出版を目指していきたいとのことだった。地学オリンピックが盛況で 2000 名の方が参加したことが報告された。

(3)日本学術振興会育志賞候補者の推薦について

中村正人連合副会長より、日本学術振興会育志賞候補者の推薦について、加盟学協会との重複を避けるため連合からの推薦は行わず、各加盟学協会で行っていただけないかという提案があり、これが承認された。

なお、育志賞に限らず、連合では一般的に賞の推薦は行わないこととした。

3.日本学術会議の近況報告(日本学術会議地球惑星科学委員会 大久保委員長)

大久保委員長より、日本学術会議の活動報告があった。

軍事的安全保障研究に関する声明について、大型研究計画(マスタープラン 2017)について、次期の会員・連携会員の選考、電子ジャーナル経費の高騰問題、原発事故等による放射性物質の移流・拡散に関する公開の学術フォーラムについて、それぞれ報告があった。

4.団体会員に関わる定款等の変更について

塚本議長より、団体会員に関わる定款等の変更について、今回の社員総会で決議予定の日本地球惑星科学連合定款一部変更の件(第 7 条、第 27 条)と法人運営基本規程一部変更の件(第 6 条、第 15 条)の説明があった。

定款第 7 条 2 項の「この法人は、正会員の中から選出された代議員及び団体会員をもって、公益社団法人及び一般財団法人に関する法律(以下、「法人法」という。)上の社員とする。の上記取り消し線の部分の削除が確認された。また、定款第 27 条について「社員総会は、団体会員及び代議員をもって構成する。」の取り消し線の箇所を削除し、「社員総会は、全ての代議員をもって構成する。」とすることを確認した。

続いて、「2 社員総会における議決権は、団体会員及び代議員いずれも 1 名につき 1 個とする。」の取り消し線の部分の削除が確認された。

また定款第 6 章学協会長会議の第 48 条について、附則「11 第 7 条及び第 27 条の改正(平成 29 年 5 月 23 日)については、平成 30 年 4 月 1 日より施行する。」の追記が確認された。

続いて、法人運営基本規程一部変更の件(第6条、第15条)の説明があった。

第3章代議員選挙の第6条について「代議員の定数は、理事会の定めにより別に設ける代議員の選出のための正会員による選挙の日を公示した日(以下「選挙公示日」という。)の前日における団体会員の数の2倍とする。」の取り消し線の箇所を削除し、「代議員の定数は、150名とする。」とすることが確認された。

法人運営基本規程第5章、社員総会の運営について、第15条2項団体会員たる社員は、代表者自ら若しくはその団体の役員、会員、社員若しくは使用人を指定して又は代議員たる社員を代理人に選任して、社員総会に出席する。の取り消し線部分を削除する。

4項「社員総会に出席する者は、会場の受付にて、次のとおり、その出席資格の確認を受けなければならない。

(1)代議員たる社員本人が出席する場合には、本人であること

(2)代議員たる社員又は団体会員の代理人として出席する場合には、委任状等の提出によりその代理権を有する者であること

(3)団体会員たる社員の代表者が出席する場合には、その団体の代表者本人であること

(4)団体会員から指定を受けた役員又は使用人として出席する場合には、その旨の書面により、その団体から指定を受けた者であること」の取り消し線箇所を削除し、1行目の取り消し部分「者」は「社員」に変更することが確認された。

なお、この改訂に伴い、第15条の3項が2項に、4項が3項に、5項が4項に変更となる。

附則の追記について誤字があったので修正し「(5)平成29年5月23日第6条及び第15条改正。第15条改正については、平成30年4月1日から施行する。」を追記することが確認された。

平成29年5月2日に開催された第一回理事会で承認された学協会長会議規則の確認が行われた。

幹事会の開催は来期から連合大会中に開催の学協会長会議以前に開催されることが確認された。

幹事会メンバーの選出について、候補(案)のリストについて塚本議長より説明があり、幹事会メンバーがリストの通り認められた。

幹事会メンバーは以下の通りである。

1.次期議長の学協会長 2.日本地球化学会 塚本尚義 3.一般社団法人水文・水資源学会 渡邊紹裕 4.日本古生物学会 前田晴良 5.一般社団法人日本地質学会 渡部芳夫 6.公益社団法人日本地理学会 村山祐司 7.公益社団法人日本地震学会 山岡耕春 8.特定非営利活動法人日本火山学会 井口正人 9.地球電磁気・地球惑星圏学会 山崎俊嗣 10.公益社団法人日本気象学会 岩崎俊樹

幹事会規則について、幹事会メンバーは個人を指すのか、団体のことを指すのか、という質問があり、塚本議長より以下の説明があった。

学協会長会議議長が任期中に議長の所属する学会の会長に交代があった場合は学協会長会議議長も新会長に交代する。

任期途中の交代等があった場合、引継ぎが可能ないように、幹事会規則の第3条3項に幹事会の長の求めにより理事会へのオブザーバー出席が可能と定められていることが説明された。

5.次期学協会長会議議長の選任

次期学協会会長会議議長の選任を行った。出席者からの自薦・他薦はなかったが、塚本議長から日本第四紀学会の小野昭会長が次期学協会会長会議議長に推薦された。小野昭会長の推薦受諾を確認した上で出席者にその可否を諮ったところ、満場一致で承認された。これに伴い、先に確認された幹事会メンバーに関して日本第四紀学会の小野昭会長が任命された。

6.その他(日本地理科学学会の後藤先生がご欠席の為、塚本議長から代理でご報告)

日本地理科学学会、後藤先生からの提案で EGU の GIFT (<http://www.egu.eu/education/gift/>) のような教育研修を目的としたワークショップを JpGU でも行って欲しいという要望があり、JpGU の教育検討委員会と地学教育委員会に検討を要請することとなった。

以上